

◇熊谷隆一君

○議長（高橋 猛君） 次に、11番、熊谷隆一君の一般質問を許可いたします。熊谷隆一君、登壇願います。

（11番 熊谷隆一君 登壇）

○11番（熊谷隆一君） 通告に従いまして一般質問をいたします。

美郷町浪花出身の加藤訓さんは高校卒業後自衛隊に入隊した後、津軽三味線の演奏家を目指し、自衛官を辞職し、東京で修行をしていました。そのとき、その時期に私は偶然にも加藤さんと会ってお話をしたことがあります。年代、年月については、私はその後の経過については忘れましたが、その後、秋田市に移りまして津軽三味線の演奏集団藤秋会を立ち上げ、その後の努力、活躍の結果、今や藤秋会は全国的な活動をしていると伺っております。現在は名古屋を活動の拠点にしているようですが、毎年東京武道館で1,500人規模の演奏会を開催しておりますし、さらには2020年の東京オリンピックの開会式で3,000人規模の演奏をする計画があるなど、いわゆるメジャーな活動をされておると思います。このような活動をされている人が美郷町出身であることは町民にとってもうれしいことであり、町にとっても誇りであると思います。

私は、昨年10月に開催された国文祭のジャズ演奏会、そしてゲスト出演された日野皓正さんの演奏、人となり大きな感銘を受けました。きっと加藤さんの演奏あるいは人となりの魅力は美郷町民にとっても大きな感動、そして元気を与えてくれるものと思います。加藤さんの意向もあるとは思いますが、町として今後何らかの交流を計画する考えがあるかということについて伺いいたします。

○議長（高橋 猛君） 答弁を求めます。町長、登壇願います。

（町長 松田知己君 登壇）

○町長（松田知己君） ただいまのご質問、藤秋会家元の加藤 訓さんとの交流についてですが、加藤氏は各方面でご活躍されており、米国カーネギーホールでのコンサートを初めとする海外での公演、そしてギネス記録に認定された2020東京オリンピック津軽三味線プレゼンテーションにおける1,124人の大合奏などはご存じの方も多いものと存じます。

多くのお弟子さんを抱え、全国に支部があるほか若くして日本郷土民謡協会の重要な役職を担い、同協会の名誉教授、秋田県民謡協会の公認教授として幅広く活動されており、また美郷町の民謡長者の山全国大会では草創期において本部伴奏をお務めいただくなど、大会運営にもご貢献いただいた旨伺っております。一方、加藤氏は大変にご多忙な方と伺っており、議員もご説明のとおり近年は多くの支部を抱える愛知県での活動が多いと伺っているところです。いずれ幅広い

ご活動の中から培われた識見及びネットワークは各般にわたるご示唆をいただけるものと考えておりますが、議員ご指摘のとおり加藤氏のご意向もおありと存じますので、その前に加藤氏のこれまでのご活躍等を深くご理解なさっている同じ分野の方々、具体的には民謡長者の山や仙北荷方節の全国大会の関係者から、そういうご活躍の状況や内容などを伺いながら、どういう観点で、どういうご示唆をいただくことが美郷町にとって望ましいかを考えるとともに、その接点の持ち方等についても、あわせて検討してまいりたいと存じますので、ご理解をお願いいたします。以上です。

○議長（高橋 猛君） よろしいですか。はい。

○議長（高橋 猛君） これで、11番、熊谷隆一君の一般質問を終わります。